議題	テーマ提言について
項目	まとめ

前回までの基準諮問会議における提案

1. 前回までの基準諮問会議において提案されたもののうち、会計基準レベルのテーマに 関する検討状況は以下のとおりである。

提案時期	内容	検討状況
第 26 回 (H28/3/4)	「経営者が会計方針を適用する 過程で行った判断」及び「見積 りの不確実性の発生要因」に関 する注記情報の充実	事務局による評価は以下のとおりである(資料(1)-2参照)。 ● 当面、我が国の市場関係者における、IASBから公表予定の開示原則に関するディスカッション・ペーパー(DP)へのコメント検討を通じた国際的な意見発信の状況を注視することとし、開示原則に関するDPへのコメント検討を終えた後(仮に当該DPが2017年4月に公表される場合は、コメント期間は2017年10月頃となる。)、本テーマに関する議論を再開してはどうか。

2. 前回までの基準諮問会議において提案されたもののうち、実務対応レベルのテーマに 関する検討状況は以下のとおりである。

提案時期	内容	検討状況	
第 24 回 (H27/7/13)	無対価株式交換の会計処理	実務対応専門委員会に評価依頼中である。	
第 24 回 (H27/7/13)	親会社による子会社の吸収合併	実務対応専門委員会に評価依頼中で ある。 (企業結合会計専門委員会を再開し、 検討を開始している。)	

_		,
第 25 回 (H27/11/12)	会計制度委員会報告第14号「金融商品会計に関する実務指針」における当座貸越契約及び貸出コミットメントに関する規定の改正	実務対応専門委員会に評価依頼中である。 (テーマ提案者である全国銀行協会より、国際的な規制の見直しについて最終的な結論が確定していない旨の報告が前回の基準諮問会議でなされ、この状況を注視している。)
第 28 回 (H28/11/14)	仮想通貨に係る会計上の取扱いについて	実務がある(1)-3参照(1
		まえ、ASBJの新規テーマとして提言

	することとしてはどうか。
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

第29回基準諮問会議(今回)における提案

3. 今回、以下の項目についてテーマ提案が行われたため、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。

会計基準レベ ル/実務対応レ ベル	項目	対応
実務対応レベ	「事業分離等に関	本テーマ提案は、会計基準の記載ぶりに関連す
ル	する会計基準」と	る問題であるため、今後の「企業結合会計基準及
	「企業結合会計基	び事業分離等会計基準に関する適用指針」の改正
	準及び事業分離等	時に対応を図ることを ASBJ に依頼してはどうか
	会計基準に関する	(資料(1)-4 参照)。
	適用指針」の記載内	
	容の相違について	

(別紙)

過去に審議を行ったが提言に至らなかったテーマ

以下については、前回までの基準諮問会議で提案され、テーマ提言に至らなかったテーマである。

(会計基準レベル)

- 比較情報(第16回基準諮問会議提案)
- 金融商品の消滅の認識(第16回基準諮問会議提案)
- 完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理(第 18 回基準諮問会議提案)
- 金融商品会計における上場関係会社株式の減損の取り扱いについて(第 21 回基準 諮問会議提案)
- 継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発について(第 17 回基準諮問会議提案)

(実務対応レベル)

- 種類株式の会計処理(第16回基準諮問会議提案)
- 現物分配の会計処理(第 16 回基準諮問会議提案)
- 契約に含まれるリース取引 (第 16 回基準諮問会議提案)
- ポイント引当金(第17回基準諮問会議提案)
- リストラクチャリングに関連する引当金、早期割増退職金の会計処理(第 16 回、 第 17 回基準諮問会議提案)
- 指定国際会計基準を任意適用している会社において、親会社が子会社を吸収合併する際に子会社から受け入れる資産及び負債の適正な帳簿価額の考え方(第 20 回基準諮問会議提案)
- 総合型厚生年金基金の特例解散における会計処理(第 21 回基準諮問会議提案)
- 厚生年金基金の代行部分に関する前納の会計処理(第21回基準諮問会議提案)

以上